

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	設備設計図書に関するアカデミック・スタンダード小委員会	主 査 名：中島康孝 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：加藤信介
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・2007 年度：アカデミック・スタンダード小委員会により CD 案(第 2 次原案)を完成させる。 ・2008 年度：FDS 案(第 4 次原案)を完成させる。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：	
	中島康孝、相曽一浩、石川幸雄、伊藤宏之、落合弘文、佐野邦彦、 福田全志、後藤謙一、堀尾佐喜夫、柳井崇、米山浩一	
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む) 2008 年度 5/12、6/9、7/8、9/12、10/20、12/1 2009 年度予定 2/2,3/19(予定)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1 . Draft Of Standard 案(第 3 次案)を完成させ、FDS(第 4 次案)作成中。 2 . 関連学協会、団体との調整中。
委員会活動の問題点 ・課題	1 . 特になし

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2008 年度 小委員会活動 自己評価  
(最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>1.2 項目（性能検証、環境性能評価）につき 2 者（中原信生氏、伊香賀俊治氏）からのパブリックコメントを受理した。</p> <p>2.2008 年学会大会（9/18）OS テーマとして 80 名の参加による討論を行った。</p> <p>3.外部査読委員 2 名を依頼し、2009 年 2/21 に査読結果を受理予定。</p> <p>4.2009 年 3/31 に FDS（第 4 次案）を完成予定。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。